

Financial Highlights - 2022 Fiscal Year

株式会社スタメン 証券コード(4019)

2022年12月期 第3四半期 決算説明資料

Nov. 2022

stmn, inc.

目次

- 01 | 2022年12月期 第3四半期実績
- 02 | 従業員エンゲージメント事業 (TUNAG)
- 03 | コミュニティエンゲージメント事業 (FANTS)
- 04 | 2022年12月期 業績見通し
- 05 | 補足資料

01

2022年12月期 第3四半期実績

※1
TUNAGの
利用企業数

526社

前年同期末 394社

※1
TUNAGの
平均MRR

178千円

前年同期末 167千円

※2
TUNAGの
売上高ストック比率

92.6%

前年同期 91.9%

※1
FANTSの
運用サロン数

135サロン

前年同期末 94サロン

※1
FANTSの
平均MRR

90千円

前年同期末 58千円

※2
FANTSの
売上高ストック比率

81.6%

前年同期 57.8%



累計の社内制度利用が1,000万回を突破

区分	課題名	実証事業者 (所在地)	市担当部署
行政課題	U30と行政の距離を縮める広報～新たなコミュニケーション手法を実証したい!	株式会社スタメン (名古屋市中村区)	市長室広報課
	大規模災害時の電話に迅速に対応したい! 自動音声応答システムの構築!	株式会社サイバーエージェント (東京都渋谷区)	スポーツ市民局 広聴課
	ベテランの技術を継承したい! 南部市場及びと畜場のスマートファクトリー化	イクスアール株式会社 (名古屋市中村区)	経済局南部市場 管理課
社会課題	粗大ごみ収集ルートを作成をもっと簡単に! 手書き地図からの脱却!	SWAT Mobility Japan 株式会社 (東京都中央区)	環境局作業課
	堀川に浮かぶごみをなくしたい! 川ごみのメカニズム解明と対策の実証【グリーン化】	株式会社平泉洋行 (東京都台東区)	緑政土木局 河川計画課
	地域活動をアップデート! デジタル技術を活用し、持続可能な地域コミュニティを実現したい! 【DX】	株式会社スピード (瀬戸市)	スポーツ市民局 地域振興課
	「青果物流通の標準化」を見据え、効率のよい場内物流モデルを作成したい!	佐川急便株式会社 (京都市)	経済局本場 業務課
	待ったなしの部活動改革! 子どもたちと教員負担の軽減を両立したい!	ソフトバンク株式会社 (東京都港区)	教育委員会 部活動振興室

Hatch Technology NAGOYAに採択決定



2023年1月より東京支社の新設を決定

※1: TUNAG / FANTS の利用企業数、運用サロン数、平均MRRは、各四半期末時点の実績を記載しております。
 ※2: TUNAG / FANTS の売上高ストック比率は、期末時点のものではなく、四半期の累計実績を記載しております。

来年度以降の事業成長の加速化に備えた、組織体制強化、増員につなげるべく、当四半期より採用力向上を目的とした、企業ブランディングへの各種プロモーション投資に着手。

直近実施した代表的な取り組み



地下鉄名古屋駅の企業広告ジャック



JR名古屋駅での企業広告ジャック

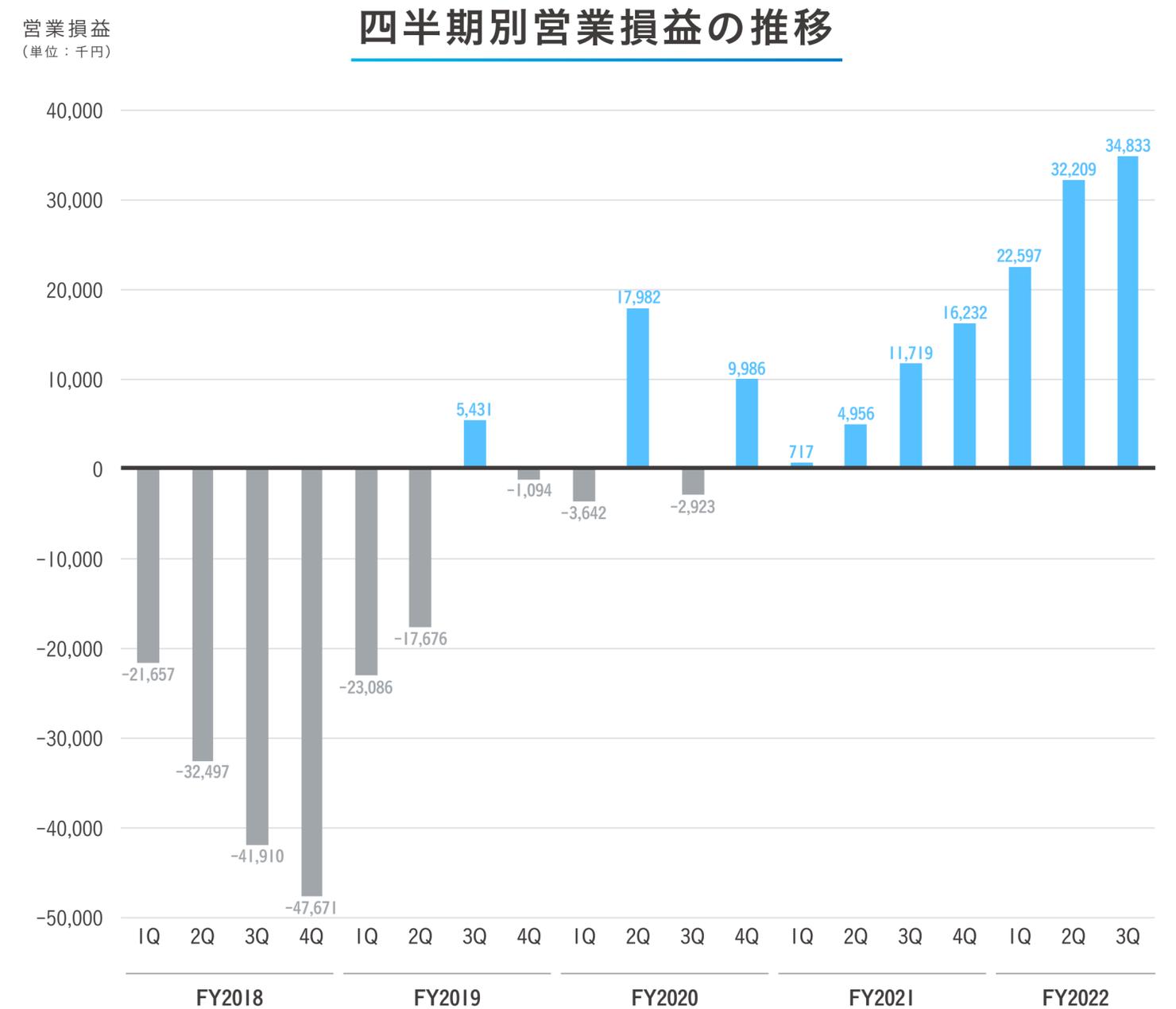
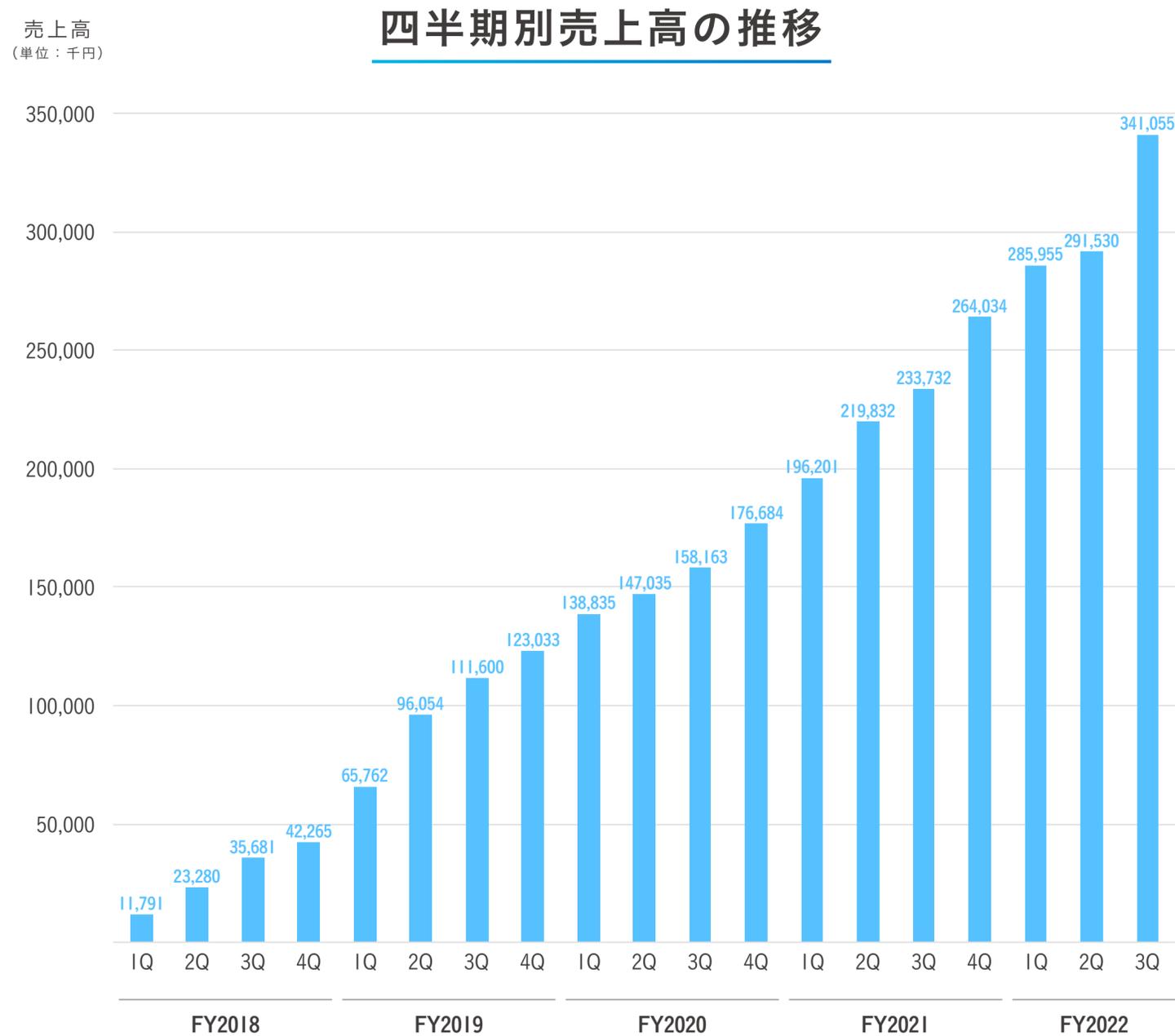


名古屋テレビ主催「ドデ祭」への企業協賛

当四半期業績は売上高、営業利益ともに前年同期比、前四半期比の双方で大きく増収増益。
成長投資を続けながらも営業利益率は2桁台を維持できており、着実に利益総出力が高まっている。

(千円)	2021/12期 3Q (前年同期)	2022/12期 2Q (前四半期)	2022/12期 3Q (当四半期)	前年同期比	前四半期比
売上高	233,732	291,530	341,055	+45.9%	+17.0%
売上総利益	183,598	229,048	269,352	+46.7%	+17.6%
利益率	78.6%	78.6%	79.0%	+0.4pt	+0.4pt
営業利益	11,719	32,209	34,833	+197.2%	+8.1%
利益率	5.0%	11.0%	10.2%	+5.2pt	-0.8pt
経常利益	11,505	31,856	34,868	+203.1%	+9.5%
当期純利益	7,472	23,664	25,704	+244.0%	+8.6%

当四半期は増収幅が過去最高幅の伸びとなり、高い事業成長を実現することができた。
 営業損益も過去最高益となっており、安定性と成長性を兼ね備えた事業運営を継続できている。



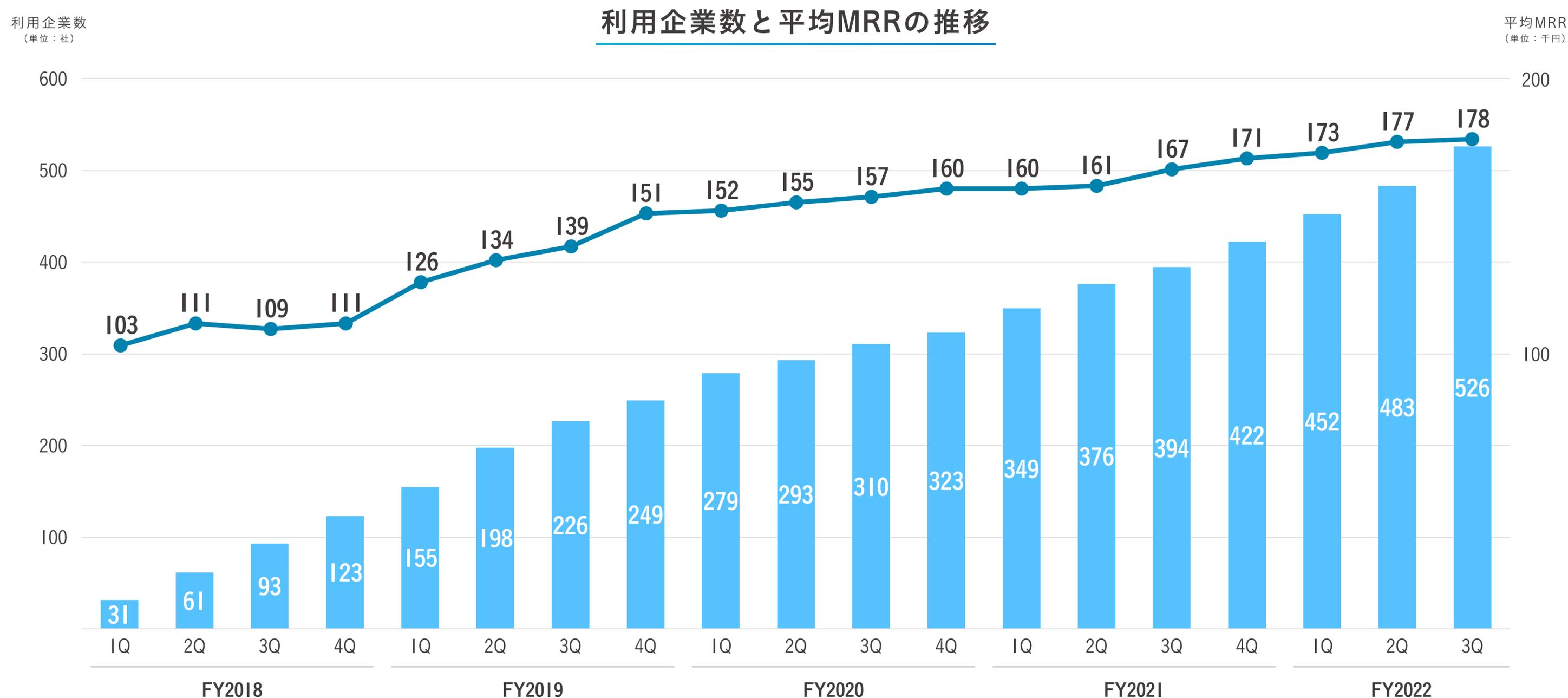
自己資本比率 68%、流動比率 281% と前四半期同様に高水準を継続できており、先行きの不透明さが増している経済環境の中でも、高い財務安全性を保っていると認識。

(百万円)	2021/12 期末	2022/12 第3四半期末	増減額
流動資産	1,261	1,179	-81
固定資産	99	274	+174
資産合計	1,360	1,454	+93
流動負債	404	418	+14
固定負債	29	41	+11
負債合計	433	459	+26
株主資本	923	982	+59
純資産合計	927	994	+66
負債純資産合計	1,360	1,454	+93
自己資本比率	68.2%	68.4%	+0.2pt

02

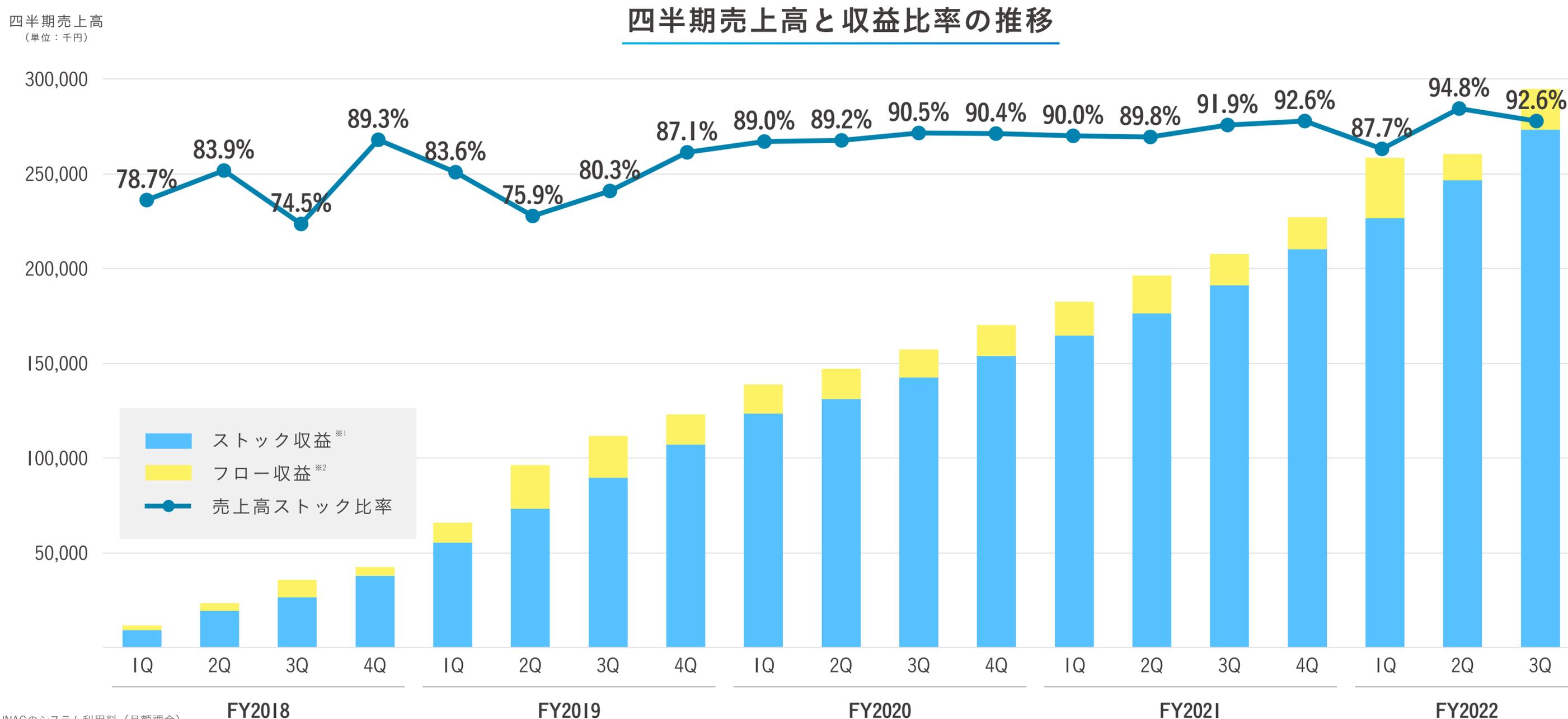
従業員エンゲージメント事業
(TUNAG)

利用企業数、平均MRRともに安定的成長が続いており、緩やかではあるが、着実に利用企業数の純増幅も伸びつつある状況。中期的に年間純増数200社を目指せるよう事業基盤を強化していく。



※: 上記図表に記載の数値は、各四半期末時点のものを記載しております。

初期費用の短期的な増減に影響を受けることはありながらも、売上高ストック比率は、90%台がベースになっており、強固な収益基盤が構築できている状況。



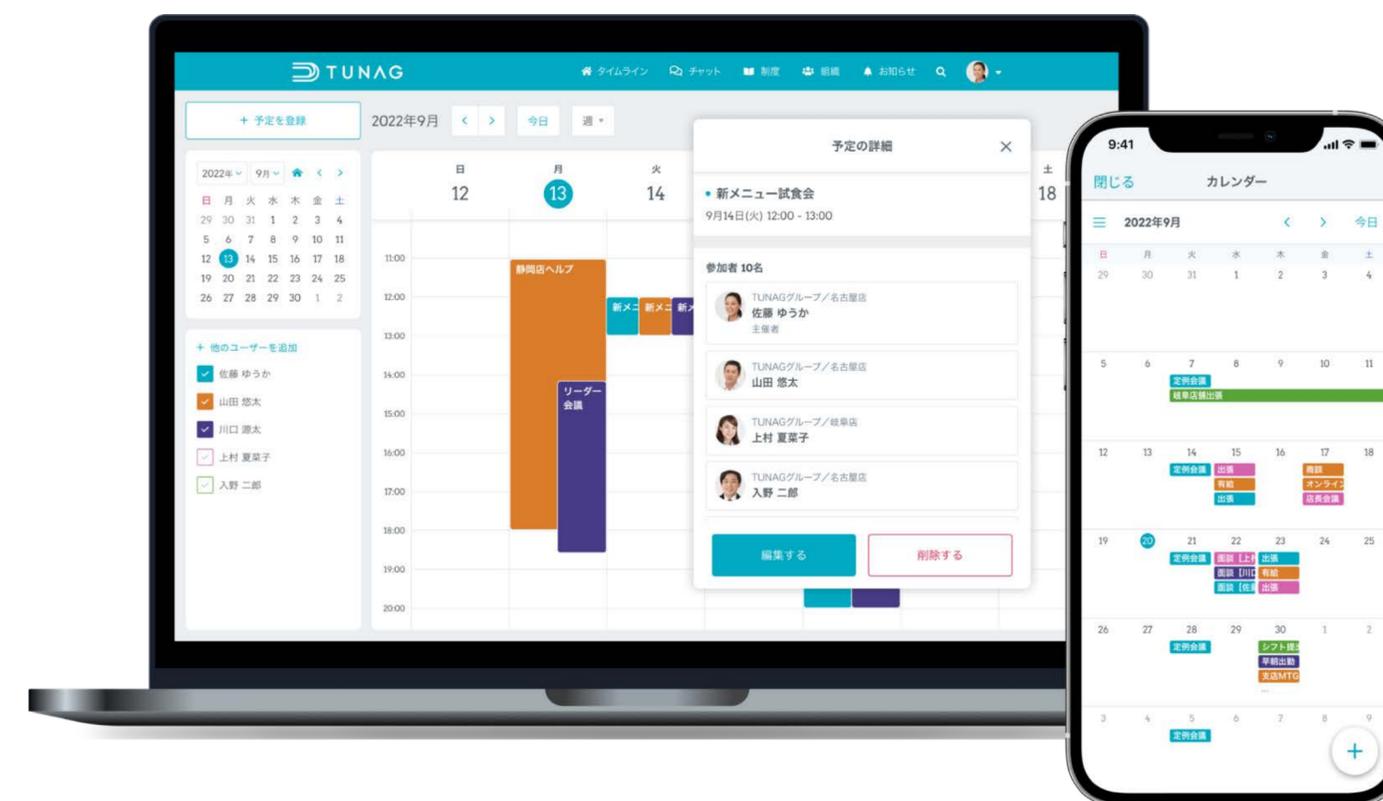
※1: TUNAGのシステム利用料 (月額課金)
 ※2: TUNAG初回契約時の初期費用、有料セミナーなど

社内コミュニケーションの活性化だけでなく、業務効率性や業務生産性を高めることのできる新機能を立て続けにリリース中。いずれも、利用率とARPUの双方の向上につながっている。



チャットタスク機能（2022年10月リリース）

プレミアムチャットのオプション機能を契約している企業向けに、チャット内でタスクの発行や管理ができるタスク管理機能をリリース。これまでも、タイムライン上では制度利用をミッション化して、定型の業務依頼を行うことができたが、非定型的な単発の業務依頼を、TUNAGチャット上で気軽に発行できるように。プレミアムチャットの保有機能が、動画送信、チャットリアクションに続いて機能強化され、よりソリューションの幅を広げた。



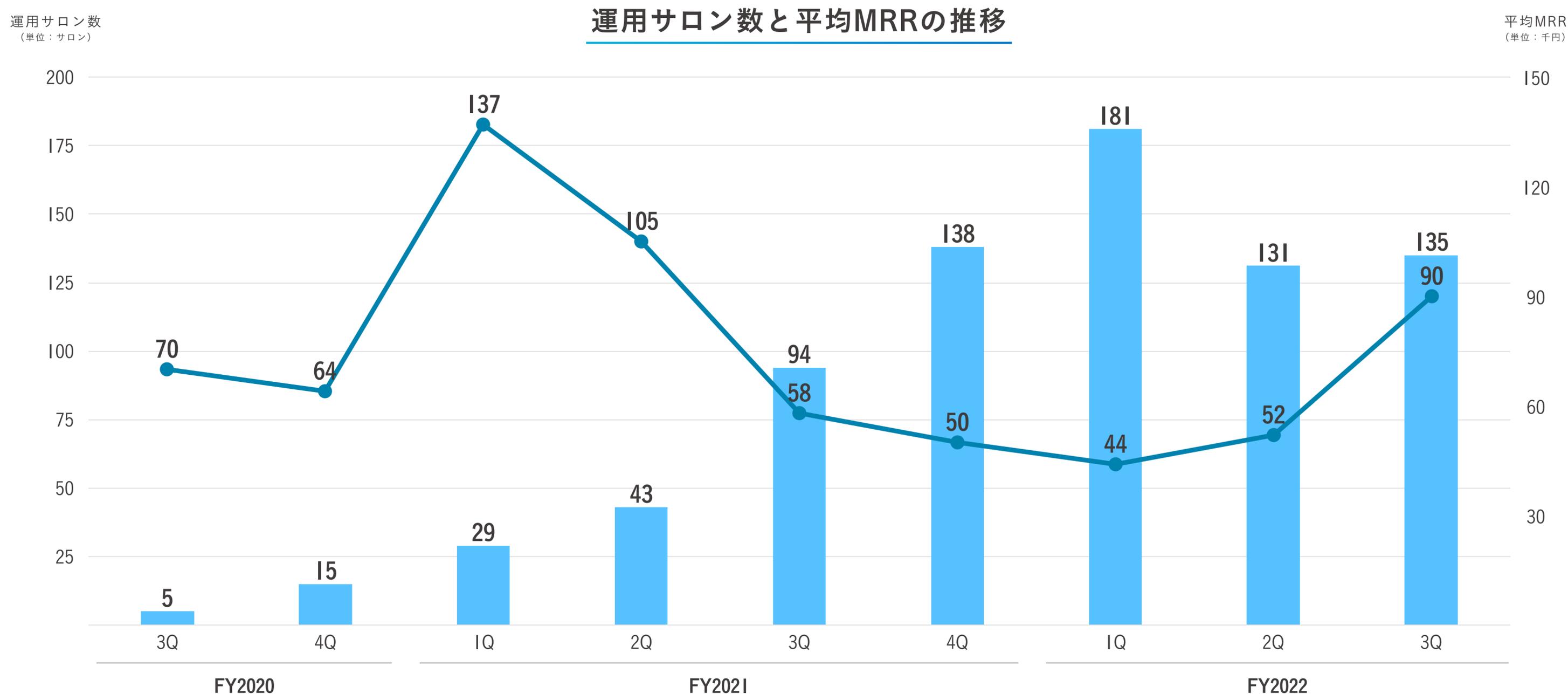
TUNAGカレンダー（2022年8月リリース）

TUNAGから組織や個人の予定を確認できるカレンダー機能をリリース。PC、スマートフォンそれぞれに最適化したUI設計を行っており、誰でも、いつでも、どこからでも予定の確認や変更が可能。社内行事や休業日などの企業・組織内の予定共有や、研修予定やシフト管理など、幅広い用途に対応でき、クローズドSNSや社内制度一覧、ビジネスチャットなどの既存機能と組み合わせて活用することで、効率的かつ効果的な組織内の情報共有を実現。

03

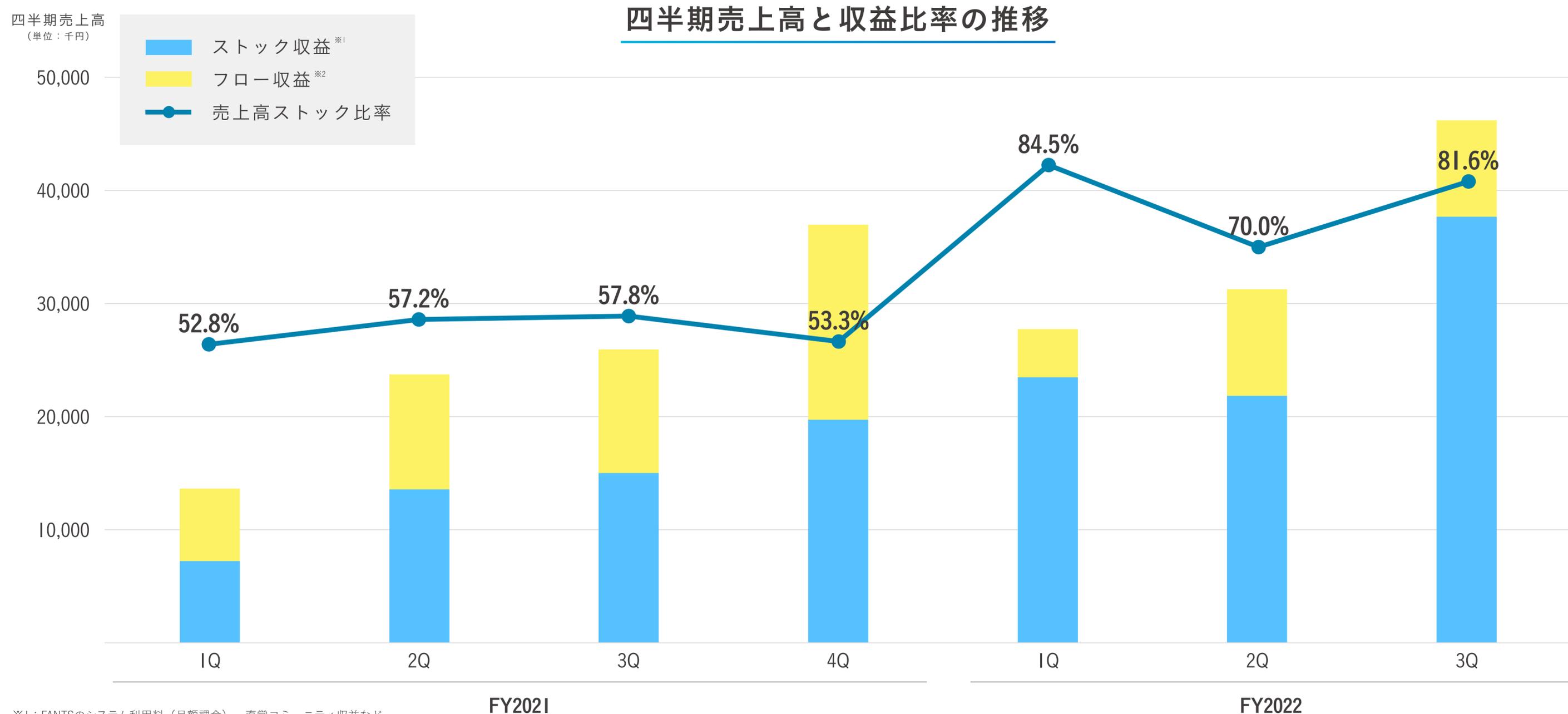
コミュニティエンゲージメント事業
(FANTS)

前四半期に行った運用サロンの精査と戦略変更が奏功し、平均MRRについては大きく改善。
当面は、一定水準のARPUが見込めるコミュニティに絞って、サロン数を拡大させていく。



※: 上記図表に記載の数値は、各四半期末時点のものを記載しております。

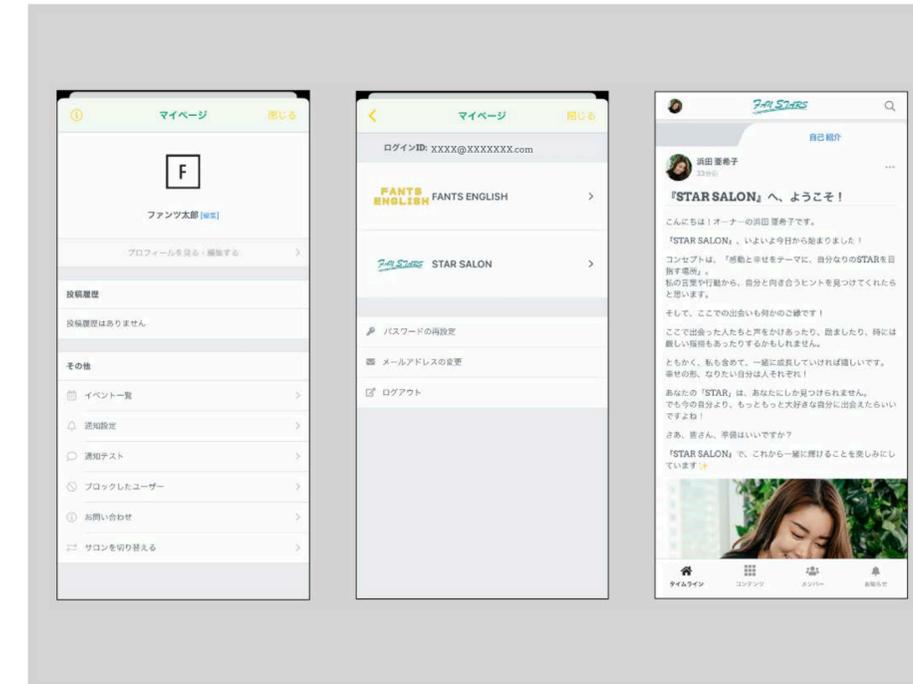
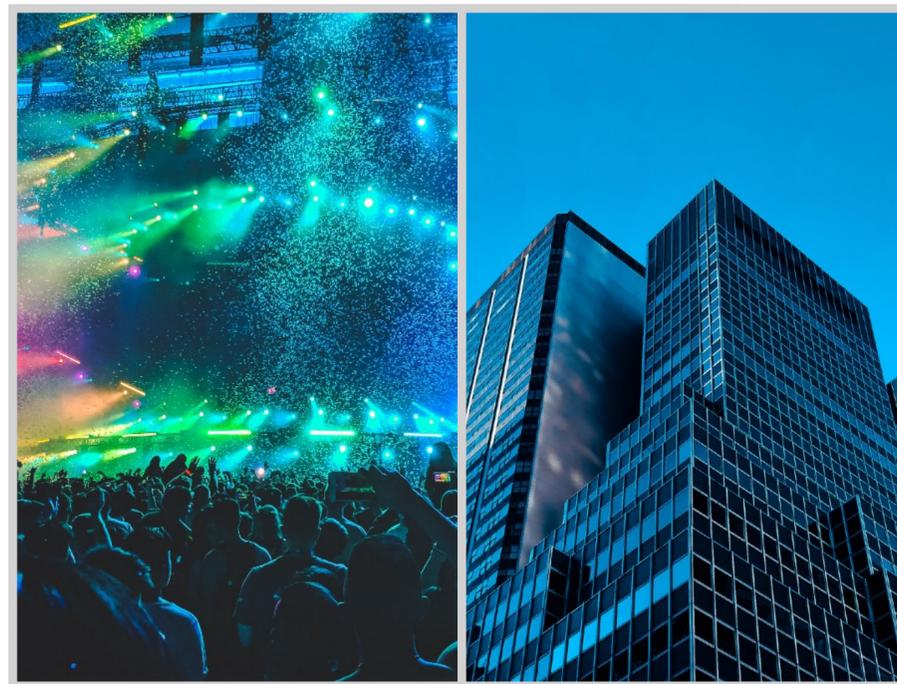
戦略変更が形になってきたことで、売上高の成長性は上昇基調に回帰。来四半期以降も
トップラインの伸び幅を重視しながら、非連続な成長が見込めるPMFの模索を継続する。



※1：FANTSのシステム利用料（月額課金）、直営コミュニティ収益など
 ※2：FANTS初回契約時の初期費用、サロンプロモーションサイト制作費など

これまでの主力領域であったスポーツ、芸能、エンタメに加えて、行政や企業が新たな取り組みとして、オンラインサロンや有料コミュニティを始めるケースが増えてきている。

区分	課題名	実証事業者 (所在地)	市担当部署
行政課題	U30と行政の距離を縮める広報～新たなコミュニケーション手法を実証したい!	株式会社スタメン (名古屋市中村区)	市長室広報課
	大規模災害時の電話に迅速に対応したい! 自動音声応答システムの構築!	株式会社サイバーエージェント (東京都渋谷区)	スポーツ市民局 広聴課
	ベテランの技術を継承したい! 南部市場及びと畜場のスマートファクトリー化	イクスアール株式会社 (名古屋市中村区)	経済局南部市場管理課
	粗大ごみ収集ルートを作成をもっと簡単に! 手書き地図からの脱却!	SWAT Mobility Japan 株式会社 (東京都中央区)	環境局作業課
社会課題	堀川に浮かぶごみをなくしたい! 川ごみのメカニズム解明と対策の実証【グリーン化】	株式会社平泉洋行 (東京都台東区)	緑政土木局 河川計画課
	地域活動をアップデート! デジタル技術を活用し、持続可能な地域コミュニティを実現したい! 【DX】	株式会社スピード (瀬戸市)	スポーツ市民局 地域振興課
	「青果物流通の標準化」を見据え、効率のよい場内物流モデルを作成したい!	佐川急便株式会社 (京都市)	経済局本場業務課
	待ったなしの部活動改革! 子どもたちの成長と教員負担の軽減を両立したい!	ソフトバンク株式会社 (東京都港区)	教育委員会 部活動振興室



Hatch Technology NAGOYAに採択決定

名古屋市が主催する課題提示型支援事業「Hatch Technology NAGOYA」において、実証事業者に採択。

U30世代と名古屋市の交流の場所として、名古屋市と共同でオンラインサロンを開設予定。

行政でのFANTS利用は初めての試みとなる。

エンタメ領域と企業活用のサロンが拡大中

芸能・エンタメ領域における直近の新設サロンとして、MALIA (モデル)、木下レオン (占い師)、Watercolor by Shibasaki (Youtuber) などがサロンを開設し、コミュニティが拡大中。

加えて、資生堂 (オンラインスクール)、デロイト トーマツ (Morning Pitchコミュニティ) などのFANTSを活用した企業運営コミュニティが増加中。

マルチアカウント機能のリリース

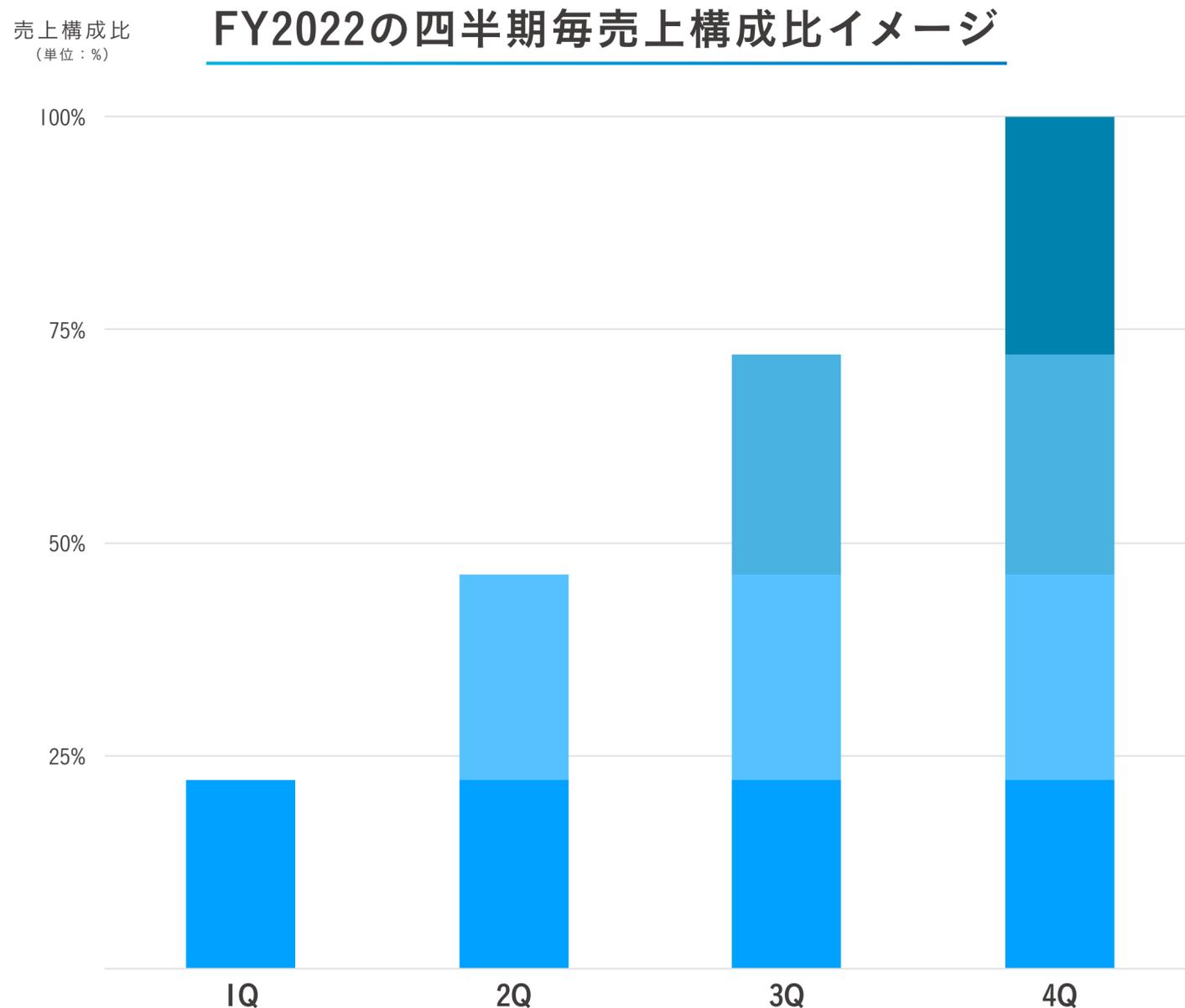
プラットフォームの拡大に伴い、1人のユーザーが複数サロンに入会する事例などが徐々に増えてきたことから、そういったユーザーの利便性を大きく向上させるマルチアカウント機能がリリース。

これにより、サロンオーナー側も、目的に応じてコミュニティのセグメントを切り分けた、柔軟なサロン運営が可能となった。

04

2022年12月期 業績見通し

TUNAG事業、FANTS事業ともに、SaaSモデルのストック型ビジネスであるため、
第3 / 第4 四半期の寄与度が大きくなる。



四半期毎の売上構成比実績

	1Q	2Q	3Q	4Q
FY2018	10%	21%	32%	37%
FY2019	17%	24%	28%	31%
FY2020	22%	24%	25%	28%
FY2021	21%	24%	26%	29%

会計監査人との協議の結果、
今年度より適用する「収益認識に関する会計基準」については、以下内容で確定。

	TUNAG事業		FANTS事業	
	ストック収益	フロー収益	ストック収益	フロー収益
従来基準	利用開始初月より 利用料を毎月計上	初期設計開始月に 初期費用を一括計上	サロン開設初月より 利用料を毎月計上	初期設計開始月に 初期費用を一括計上
		計上タイミングが変更		計上タイミングが変更
当初予定の 新基準	変更無し	初期設計期間に 初期費用を均等に分割計上	変更無し	初期設計期間に 初期費用を均等に分割計上
		計上タイミングが変更		計上タイミングが変更
確定した 新基準	変更無し	初期設計対応の完了月に、 初期費用を一括計上	変更無し	初期設計対応の完了月に、 初期費用を一括計上

※：上記内容は、現時点で会計監査人と協議した上での決定内容であり、今後変更が発生する可能性があります。
また、上記変更に伴い、すでに開示済みのFY2022 1~3月度の月次業績指標において、TUNAG / FANTS 両事業のフロー収益の記載金額が、同4月度以降より変更になっております。

当四半期も効率的に順調な事業成長を実現できたため、売上高、各段階利益ともに期初の通期業績見通しの達成がほぼ確実に。そのため、本日付で計画の上方修正を開示。

(百万円)	FY2021（従来基準）			FY2022（業績見通し 当初計画）			FY2022（実績）			
	上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	3Q実績	3Q累計	通期進捗率
売上高	416	497	913	572	672	1,245	577	341	918	73.7%
営業利益	5	27	33	23	72	95	54	34	89	93.9%
経常利益	5	27	32	23	71	95	54	34	89	94.3%
当期純利益	1	35	36	11 [*]	48 [*]	60 [*]	40[*]	25[*]	65[*]	109.1%

※：当期純利益の算定にあたって、法人税等は税引前当期（四半期）純利益に対する税効果会計適用後の見積実効税率を乗じて見積計上しております。

法人税等には税効果会計の影響を加味して算定しておりますが、実績の業績動向に基づく繰延税金資産の回収可能性の見直しによって、実際に計上される金額と予想数値と異なる場合があります。これにより、当期純利益の実績金額が変動する可能性があります。

2022年11月14日付で、下記内容の修正予想を発表。業務の効率化や効果的な採用活動の実施により、コストを抑えながらも、売上高成長の上振れが見込めたため、上方修正を行う。

(百万円)	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率	前期実績
売上高	1,245	1,280	35	2.8%	913
営業利益	95	128	33	34.7%	33
経常利益	95	128	33	34.7%	32
当期純利益	60	95 [*]	35 [*]	58.3% [*]	36
1株当たり 当期純利益 (円)	7.17	11.26 [*]	4.09 [*]	57.0% [*]	4.37

※：当期純利益の算定にあたって、法人税等は税引前当期（四半期）純利益に対する税効果会計適用後の見積実効税率を乗じて見積計上しております。

法人税等には税効果会計の影響を加味して算定しておりますが、実績の業績動向に基づく繰延税金資産の回収可能性の見直しによって、実際に計上される金額と予想数値と異なる場合があります。これにより、当期純利益の実績金額が変動する可能性があります。

当面は、修正予想の通期達成を確実化することに注力しつつ、来年度以降にこれまで以上の高い事業成長を実現するべく、効果的なグループ戦略の推進に向けた準備を進めていく。

(百万円)	FY2021（従来基準）			FY2022（上方修正後の見通し）			FY2022（実績）			
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	上期実績	3Q実績	3Q累計	通期進捗率
売上高	416	497	913	577	702	1,280	577	341	918	71.8%
営業利益	5	27	33	54	73	128	54	34	89	70.0%
経常利益	5	27	32	54	73	128	54	34	89	70.0%
当期純利益	1	35	36	40 [*]	54 [*]	95 [*]	40[*]	25[*]	65[*]	69.4%

※：当期純利益の算定にあたって、法人税等は税引前当期（四半期）純利益に対する税効果会計適用後の見積実効税率を乗じて見積計上しております。

法人税等には税効果会計の影響を加味して算定しておりますが、実績の業績動向に基づく繰延税金資産の回収可能性の見直しによって、実際に計上される金額と予想数値と異なる場合があります。これにより、当期純利益の実績金額が変動する可能性があります。

TUNAG事業のストック収益

(単位：千円)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当期	73,301	74,833	78,212	79,541	81,544	85,547	88,861	90,311	93,920	97,512		
前期	53,426	54,986	55,942	56,994	58,327	60,703	61,197	63,807	65,888	68,318	69,724	72,260
前年比増加率	37.2%	36.1%	39.8%	39.6%	39.8%	40.9%	45.2%	41.5%	42.5%	42.7%		

TUNAG事業のフロー収益

(単位：千円)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当期	-	-	31,359	805	3,638	7,958	2,550	6,148	12,261	9,322		
前期	5,835	4,850	6,200	5,530	4,307	8,384	1,490	5,797	7,574	1,778	3,207	10,486

FANTS事業のストック収益

(単位：千円)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当期	7,491	7,948	8,012	8,010	7,059	6,821	12,759	12,677	12,255	12,755		
前期	1,370	1,873	3,974	4,604	4,444	4,536	4,815	4,646	5,539	6,149	6,596	6,983
前年比増加率	446.7%	324.2%	101.6%	74.0%	58.8%	50.4%	165.0%	172.9%	121.3%	107.4%		

FANTS事業のフロー収益

(単位：千円)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当期	1,800	2,000	500	-	5,400	3,950	3,500	4,008	1,001	4,050		
前期	1,250	3,000	2,200	2,050	2,100	5,995	2,270	2,050	6,650	5,100	6,554	5,600

※：数値は速報値であり、会計監査を受けていないため、後日修正される可能性があります。 ※：前期のフロー収益については旧基準を適用しているため、前年比増加率については記載を省略しております。
 ※：FANTS事業において、2022年7月度より直営コミュニティによる売上を計上しており、ストック収益に含めて記載しております。

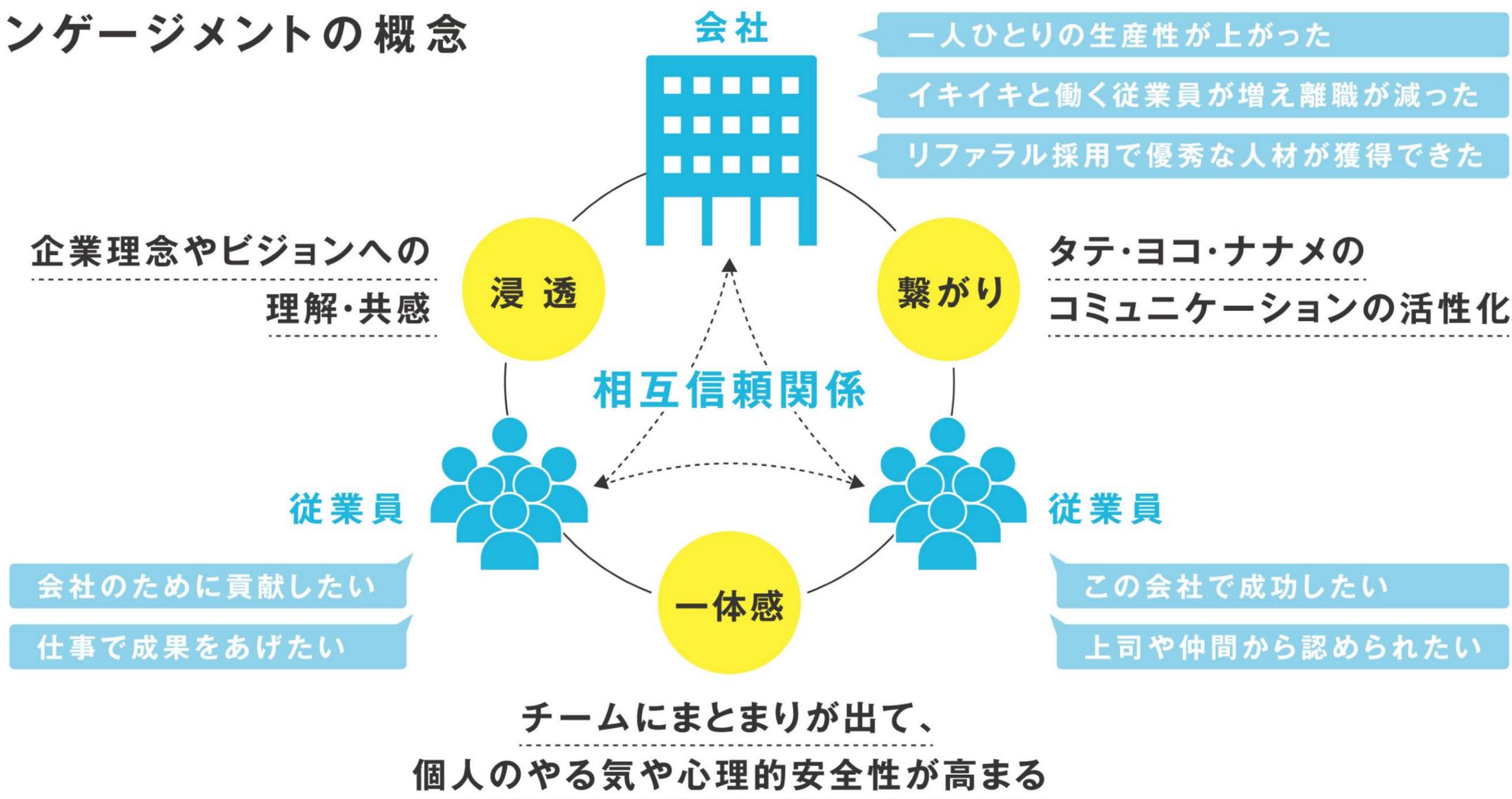
05

補足資料

<u>社名</u>	株式会社スタメン
<u>設立</u>	2016年1月29日
<u>所在地</u>	名古屋本社：名古屋市中村区下広井町1-14-8
<u>拠点</u>	鎌倉支社 / 大阪支社
<u>代表者</u>	加藤 厚史
<u>従業員数</u>	74名（2022年9月末時点の正社員数）
<u>資本金</u>	6億950万円
<u>事業内容</u>	エンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG」の企画・開発・運営 オンラインサロンプラットフォーム「FANTS」の企画・開発・運営

「会社と従業員」および「従業員同士」の相互信頼関係のこと。欧米では広く浸透した概念であり、数年前から日本国内でも認知が進み、経営の重要指標として注目が高まっている。

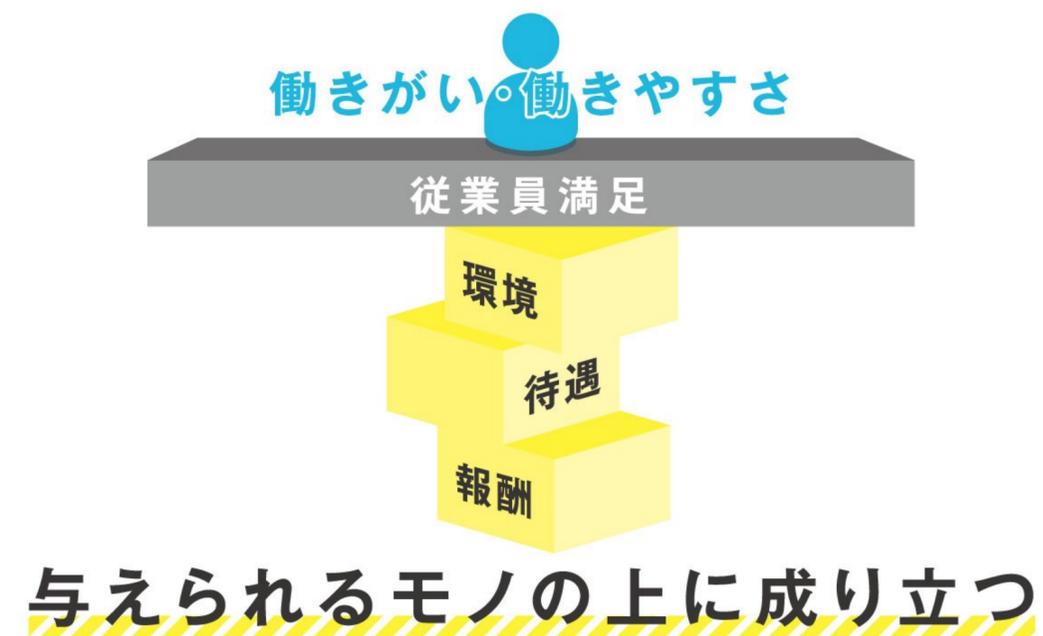
エンゲージメントの概念



「ウイリス・タワーズワトソン」「ギャラップ」などの世界的コンサル会社の調査・研究により、「企業の業績向上」との相関関係の有無が明らかにされている。



企業の業績向上に大きな影響を与える



企業の業績とは相関関係がない

従業員エンゲージメントについて、調査や研究、実証実験を進める世界的なコンサルティング企業



「TUNAG」は、SaaSモデルの "社内制度運用クラウド" と "組織コンサルティング" をワンストップサービスとして提供し、顧客の組織課題に貢献するエンゲージメント経営プラットフォーム。



目下の重点施策であるエンタープライズ向けの営業強化や、販売パートナーの拡大、株式会社以外へのターゲット拡張などが形になってきており、顧客基盤も着々と広がっている。





クローズドSNS

社内の情報がリアルタイムに蓄積されていく
カスタマイズ性の高いクローズドSNS

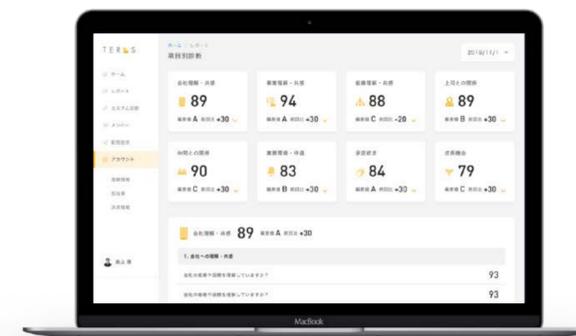
- ・社内制度の活用内容がタイムラインに流れ込み、制度の自走化を促す
- ・オリジナルスタンプや必読投稿、メンションコメントなどコミュニケーションを活性化させる豊富な機能群
- ・社内ポータルとしても活用できる柔軟なカスタマイズ性が特徴



社内制度一覧

会社で運用している社内制度や福利厚生を一括で管理・運用できるプラットフォーム

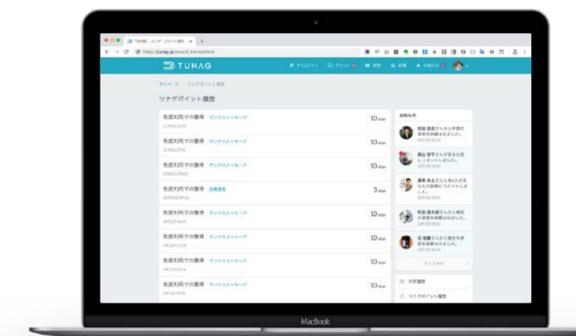
- ・社内制度をカテゴリー毎に整理したり、要件や項目を自在にカスタマイズできるTUNAGのメイン機能
- ・申請や報告といった形でワークフローを設定したり、利用条件や公開条件を設定したり、利用履歴を蓄積したりと細かな設定が可能



組織サーベイ

組織のエンゲージメントスコアを即時調査、データで組織状態を見える化する組織診断機能

- ・部署や役職毎など、組織に合わせてセグメントした分析が可能
- ・経年比較や属性比較など、様々な角度から組織の状態変化を可視化
- ・診断結果に合わせて、TUNAG上で改善施策を設計・運用することが可能
- ・独自のカスタマイズ設問を追加することも可能



社内ポイント

制度に合わせて自在に設定し、柔軟なインセンティブ設計やゲーミフィケーションが可能なリワード機能

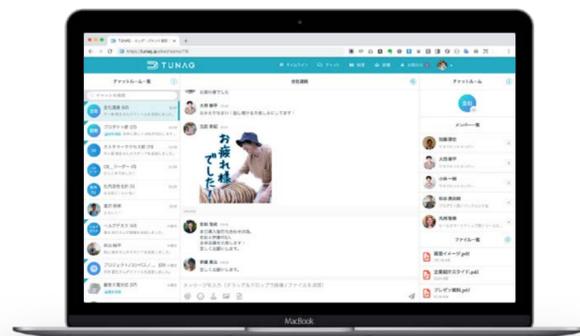
- ・利用時にポイントを自由に付与したり消費したりと、柔軟なカスタマイズが可能
- ・ポイントの名称も自由に命名可能で、ポイントを社員同士が相互に送り合うことも可能



組織一覧

社内の組織ツリーを一覧で見える化でき、社員のプロフィール情報も一括管理できる人材DB

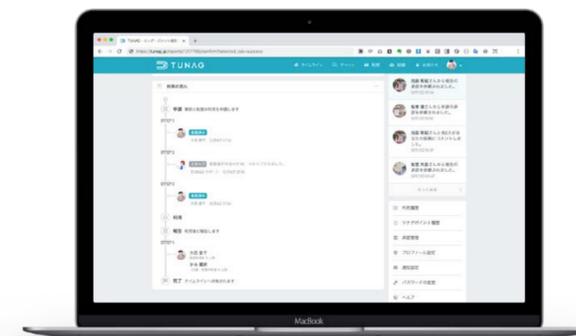
- ・組織毎に担当上長や、組織の説明、構成メンバーなどを一括で管理でき、会社の全体像を見える化
- ・プロフィール項目は自在にカスタマイズでき、制度の投稿内容と連動して自動更新をかけることも可能で、動的な人材DBの構築が可能



ビジネスチャット

情報セキュリティや組織ガバナンスに配慮した運用が可能なチャットコミュニケーション機能

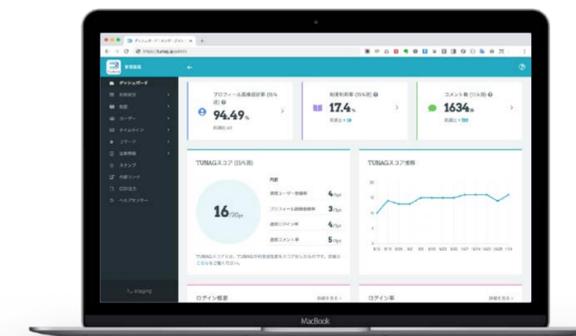
- ・人材DBと連携してチャットルーム管理が可能
- ・個別チャットやグループ作成などの可否が権限設定可能
- ・オリジナルスタンプにも対応
- ・チャットルーム毎にファイル管理機能も搭載



ワークフロー

申請・承認などの社内業務手続きを、部署や役職に合わせてスムーズに電子化する社内決裁機能

- ・社内制度毎に自由に柔軟な電子決裁の導入が可能
- ・決裁履歴は、検索機能でいつでも簡単に遡り、確認することができる
- ・決裁者不在時のスキップ処理や、部署単位の決裁フローなども簡単に設定
- ・スマートフォンには決裁依頼の通知が飛ぶので、やり取りもスムーズ

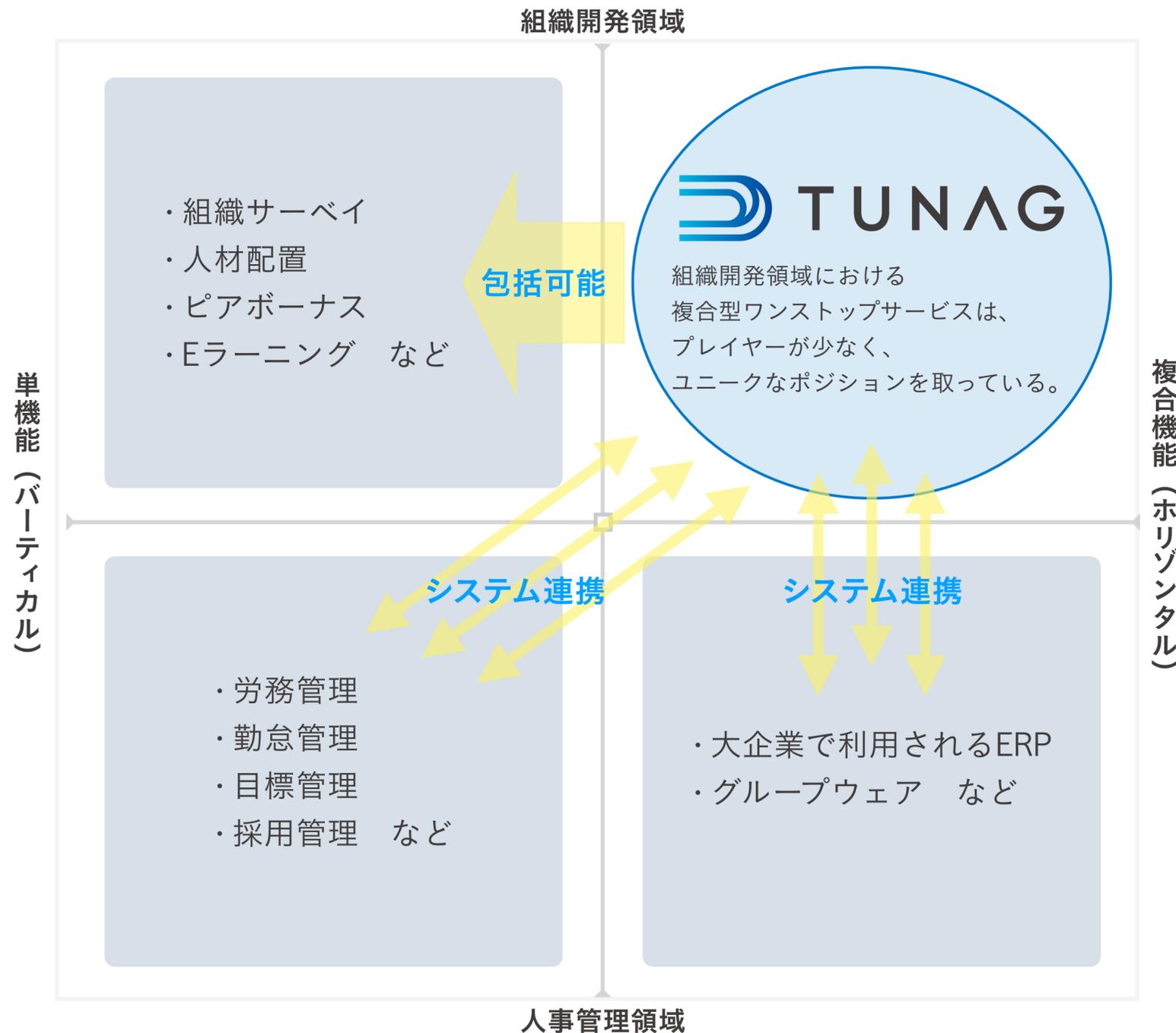


データ分析

社内の活性化状況や組織運営におけるアクションデータをワンタッチで確認できるダッシュボード機能

- ・ログイン率や制度利用率、コメント率といった各種指標が一目で確認可能
- ・日次、週次、月次など期間や、部署、役職でセグメントした分析も簡単
- ・エンゲージメント向上において重要な企業毎のヘルスコアも算出
- ・反響の大きい投稿やユーザーもランキング形式で把握ができる

市場創生期のマーケットでユニークなポジションを取っているため、直接競合する他プロダクトが非常に少なく、かつ、システム連携により既存ツールとバッティングせずに導入ができる。



HRテクノロジーサービスにおいて、TUNAGが有する競争優位性

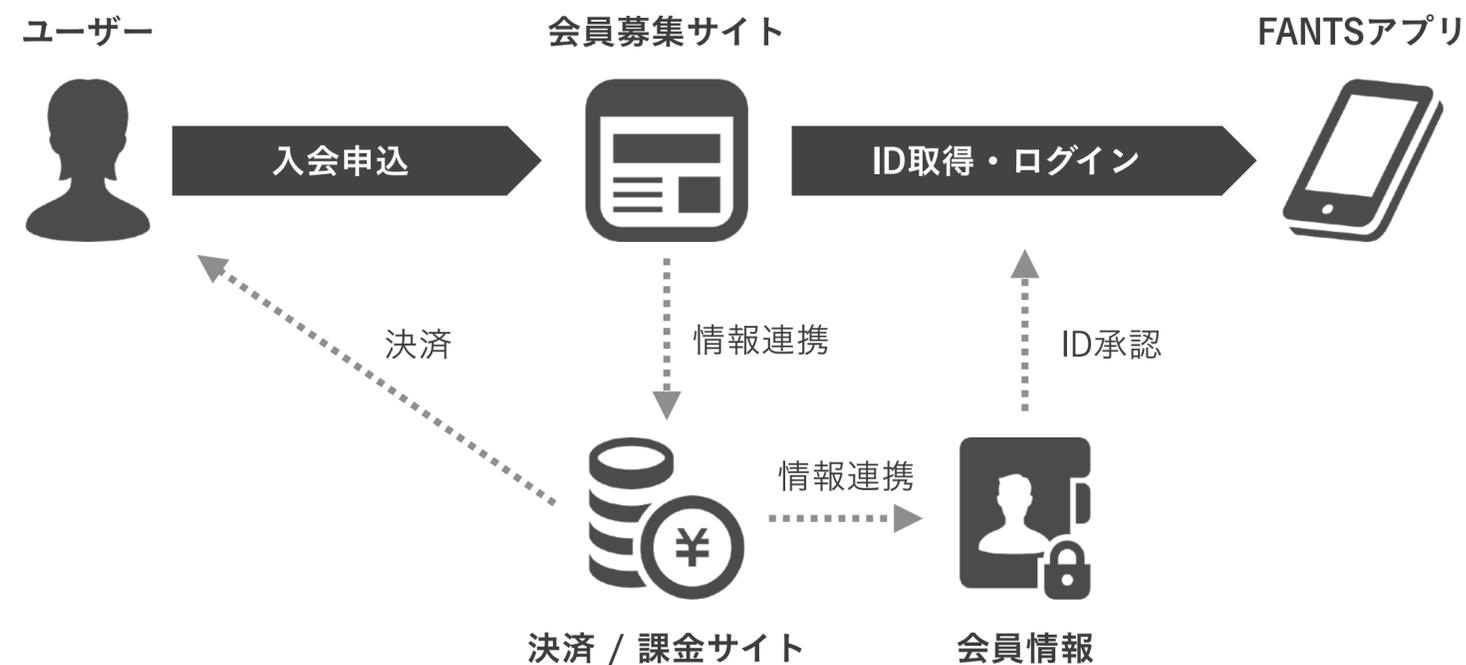
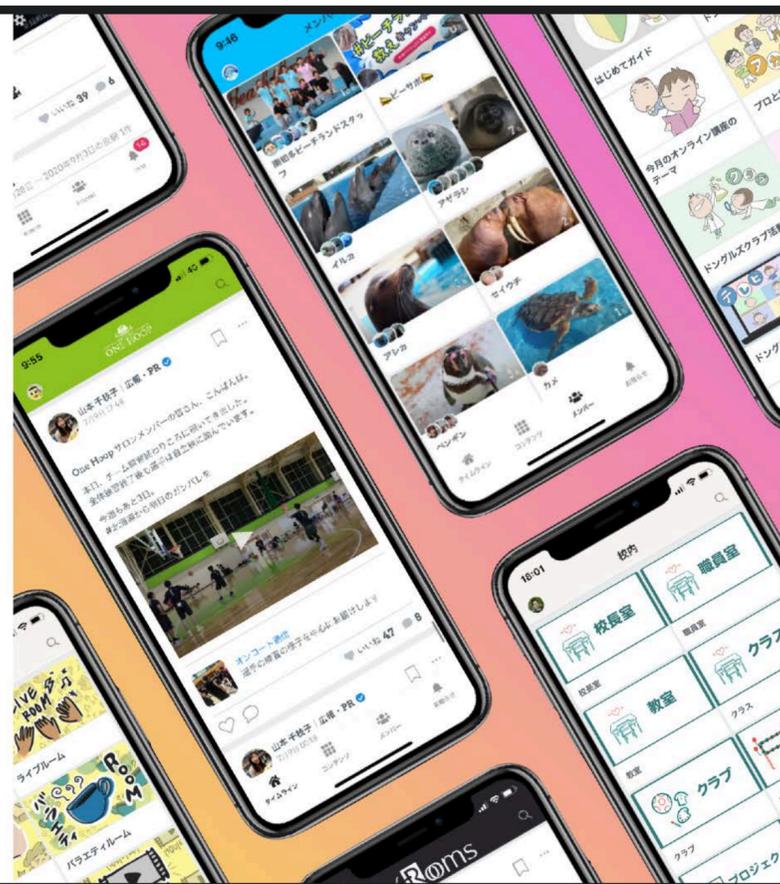
- ▶ 組織に属する全スタッフが活用
- ▶ ユーザーが日常的にサービスにログイン
- ▶ 1日のうちに何度もサービスを利用
- ▶ 1つのサービスで様々な使い方ができる
- ▶ 活用状況を直感的に分析し、PDCA改善
- ▶ 業種業態や規模を問わず、導入検討が可能
- ▶ 導入時に開発リソースが一切不要
- ▶ 他領域のSaaSサービスとの柔軟なシステム連携

「FANTS」は、企業向けの従業員エンゲージメントを【BtoBtoC】向けに拡張した、コミュニティのエンゲージメント向上を支援するSaaS型コミュニティ運営プラットフォーム。

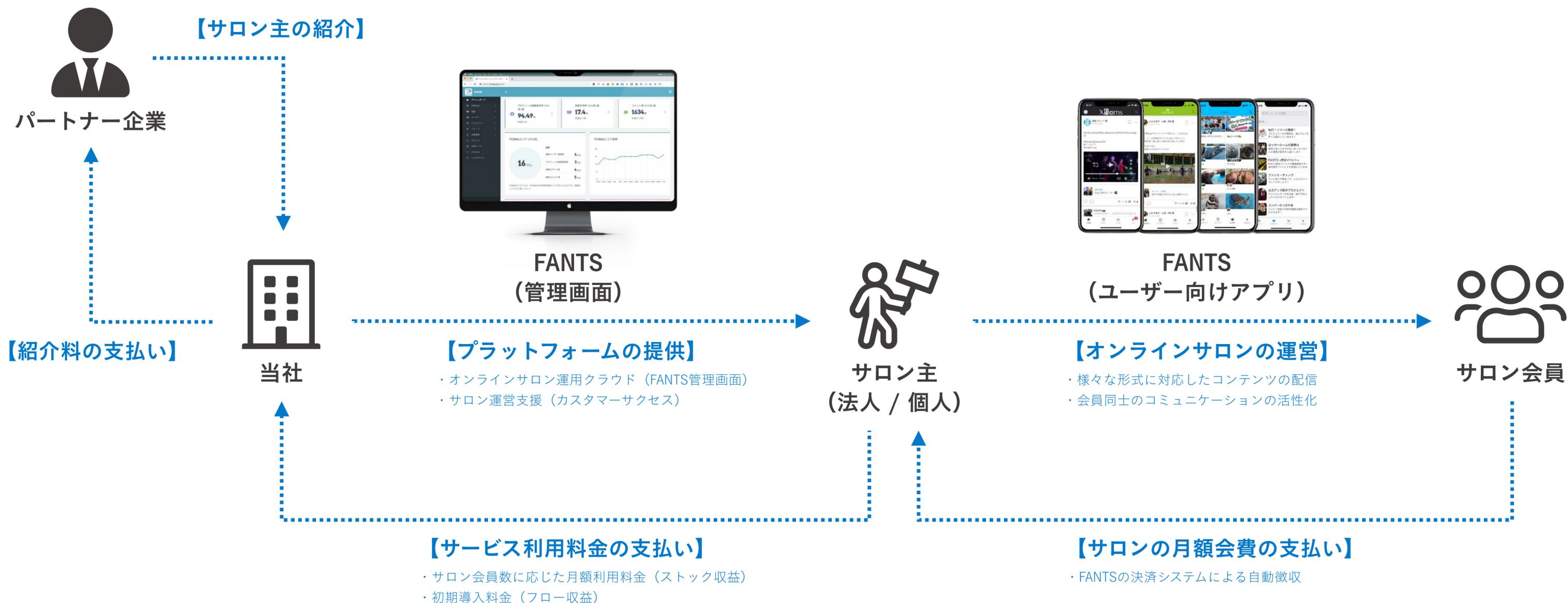
コミュニティ運営に必要な機能を、
ワンストップで提供するプラットフォームサービス

TUNAGが保有する組織運営・組織活性化に有用な多数の機能を
オンラインサロン向けに拡張・再構築し、決済システムまでカバーした新事業。

オーナーの想いを実現する
オンラインコミュニティプラットフォーム



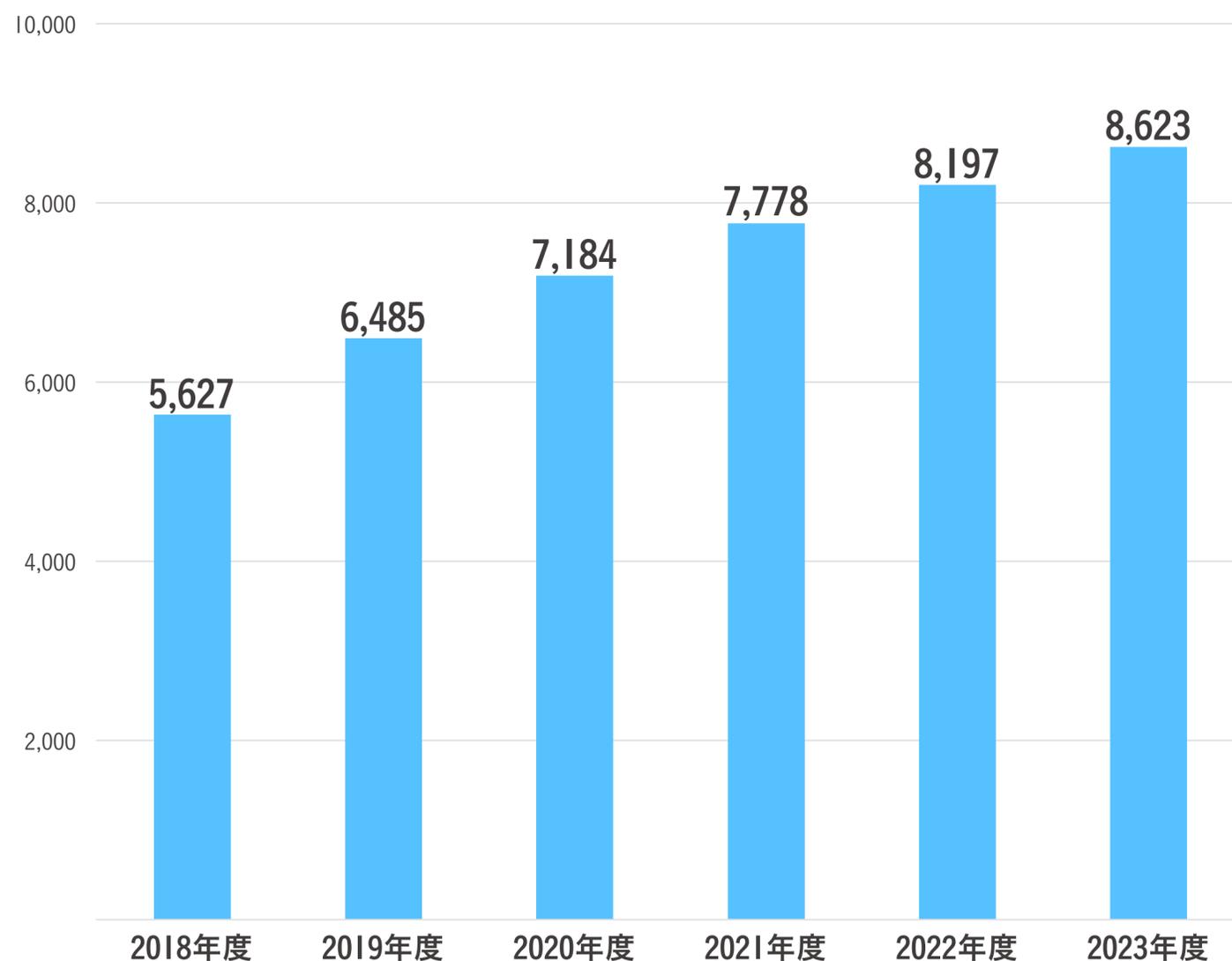
サロン主がサロン会員から上げた運営収益から、レベニューシェアでサービス利用料金をいただくBtoBtoC型のSaaSサービスとなっており、運用サロン数と会員総数が当社収益と連動する。



FANTSが対象とするサブスクサービスや、ソーシャルメディアマーケティングの市場は、いずれも高い成長性を示しており、1兆円規模に迫っていることから、事業の伸び代は非常に大きい。

サブスクリプションサービス国内市場規模予測

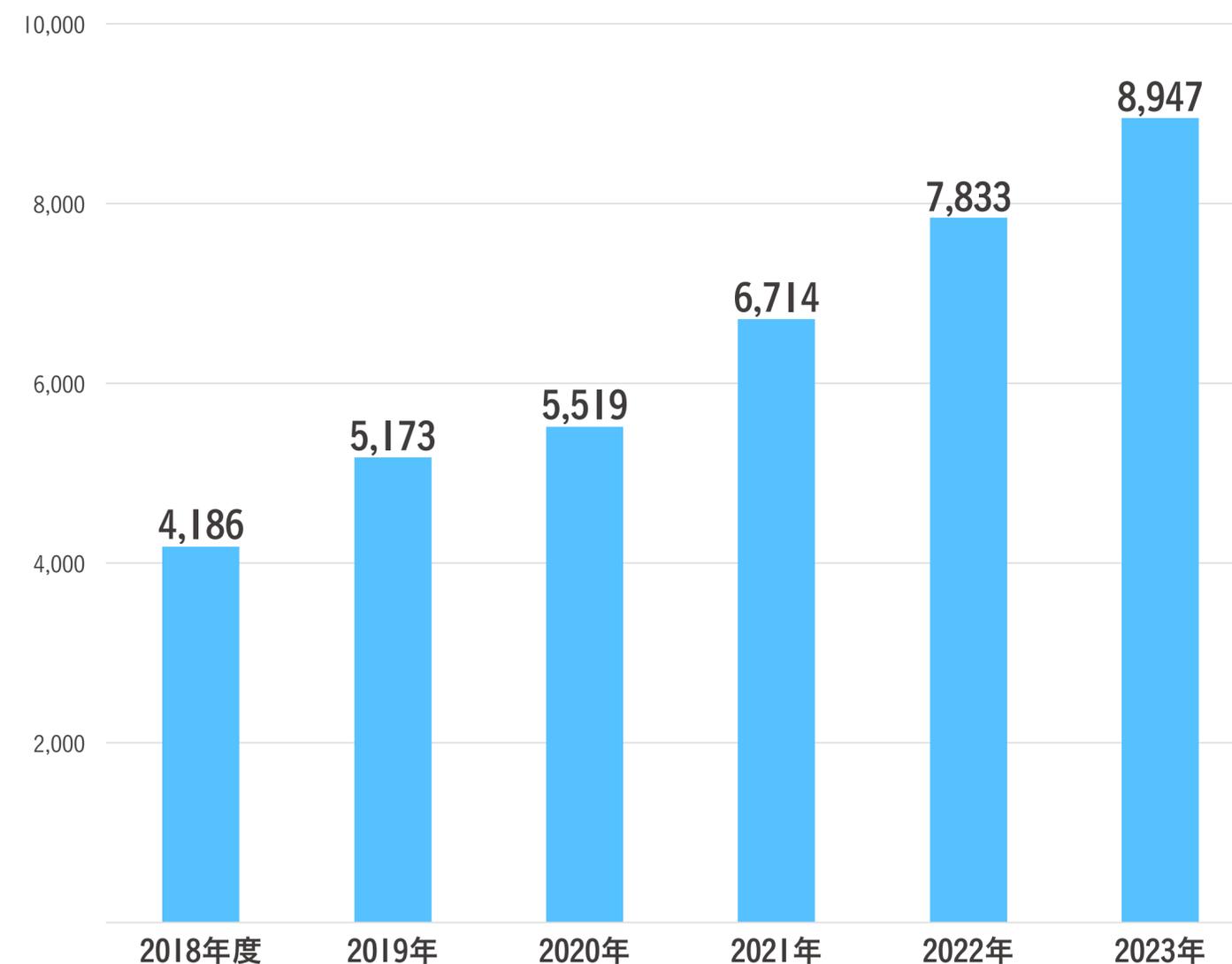
(単位：億円)



出所：三菱UFJリサーチ & コンサルティング「サブスクリプション・サービスの動向整理（2019）」

国内ソーシャルメディアマーケティング市場規模予測

(単位：億円)



出所：サイバーバズ「国内ソーシャルメディアマーケティング市場動向調査（2020）」

プロスポーツチーム、ミュージシャンやアーティスト、タレントや著名人、レジャー施設、YouTuber、協同組合、スクールや習い事など、幅広いカテゴリーでオンラインサロン展開が拡大中。



レバンガ北海道『One Hoop』



田村 淳『大人の小学校』



京都信用金庫『まちごとオフィス』



南知多ビーチランド『支援プロジェクト』



滋賀レイクスターズ『LAKES+』



ちやごるTV『公式ゴルフコミュニティ』



田中大輔 & 吉見一起『バッテリー教室 大吉塾』



すみだ水族館『すみだペンギンファンクラブ』



辻 直人『#TEAMNAOTO』



寿商店『ファミリーサロン』



寺田有希『オフィシャルファンクラブ』



JAしまね『子ども倶楽部』

本資料に掲載する情報は、当社の財務情報、経営方針、経営指標等の提供を目的とし、細心の注意を払って掲載しておりますが、掲載情報の完全性・正確性・安全性・その他についていかなる表明並びに保証を行うものではありません。

本資料の掲載内容のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社または当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。また、今後の当社または当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。

本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

2018年12月期四半期会計期間及び2019年12月期四半期会計期間の財務数値については監査法人による監査を受けておりません。

2022年12月期を「FY2022」と記載し、他も同様に20XX年12月期を「FY20XX」と記載しております。

四半期会計期間については「1Q～4Q」と記載しております。